



みどりの風

令和4年7月1日発行
校報 598号
(みどりの風 141号)
練馬区立関町北小学校

～どんな場所をつくるか～

副校長 笠原 秀浩

最近、考えていることに「場所づくり」があります。皆さんも自分が所属する様々な場所があるのではないのでしょうか。私は、職場・家庭・研究会・友達・実家・旧友・旧職場などなどいくつものコミュニティがあり、それぞれのメンバーと楽しんだり苦しんだりしています。

私に関わる様々な場所、どれも充実させたいなあとと思う今日この頃です。

このことを考えるきっかけとなったのは、幼馴染みの死でした。

先月、6月20日、勤務後にスーパーで買い物をしていると携帯が鳴り画面を見たら、久しぶりの幼馴染みの名前でした。嬉しいなあと思いながらも、もしかして、、、と思い電話に出ました。声の主は彼の奥さんでした。彼が数年前からALS（筋萎縮性側索硬化症）を患っていたことは知っていました。懸命に治療を続けていたものの2週間前に誤嚥性肺炎に罹り、2日前に亡くなったことを告げられました。本人の希望もあって家族葬を行い、火葬後すぐに連絡をくださったようでした。「主人が一番会いたがっていたのですが、コロナのこともあってお会いさせてあげることができず申し訳ありませんでした。」彼はそんな風に思ってくれていたのか…。病気になってから一度も会わなかったことを悔やみました。あのとき、コロナ禍だったけれど無理にでも会っていれば…。せめてもと思い、翌日の始発で故郷石巻に向かいました。彼に宛てた手紙を持って。初めて会う奥様はとても優しく謙虚で突然の訪問にも快く対応してくださいました。その際に、奥様から聞いた言葉が心に残っています。

「彼のこと、とっても好きなんです。愛していました。彼から本当にたくさんの幸せをもらいました。だから、私も最期に、少しでも彼に幸せを与えられるよう毎日一生懸命彼を抱きしめていました。」私が18歳で東京に出て、実家に帰ったときに数年に一度会うくらいの彼。彼がどんな家庭を築いているのか、今まで詳しくも聞かなかったけど、こんなにも素敵な家族をつくっていたのだと、改めて尊敬しました。

それぞれが所属する様々な場所。どんな場所となるかは所属する人々で決まります。今、関町北小学校の職員室は本当に意欲ある素晴らしい先生方ばかりです。子供たちも一生懸命成長しようと、素直で元気に気持ちよく過ごしています。保護者、地域の方々もそんな子供たちを応援しようとたくさんの力を貸してくださいます。今後も、関町北小学校に所属するすべての人が幸せになれる笑顔になれるそんな場所をつくりたいと、彼を偲びながら、日常へと戻ってまいりました。